

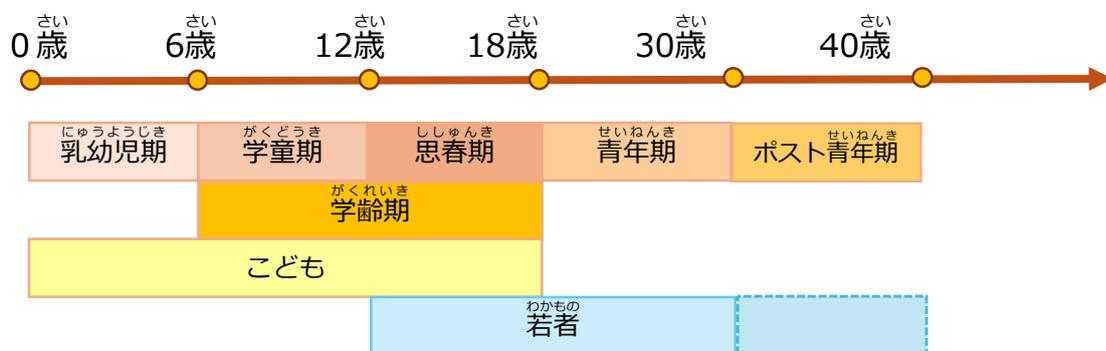
# まにわし けいかく 真庭市こども計画 やさしい版



## まにわし けいかく 真庭市こども計画ってなに？

まにわし けいかく  
真庭市では、みんなが笑顔で暮らせるように、こどもや若者を大切に  
するための計画を作っています。

この計画は、赤ちゃんからおとなになるまで（0歳から30歳くらい  
まで）、みんなが楽しく、安心して元気に成長できるためのものです。



この計画は、令和7年度から令和11年度までの5年間でこどもや  
若者のために取り組むことが書いてあります。

## どうして計画をつくるの？

真庭市にはたくさんの方が住んでいるけど、だんだん子どもが少なくなっていることが課題になっています。

また、真庭市に暮らす子どもや若者の中には色々なことで困っている人もいます。

真庭市で暮らすすべての子どもや若者が、幸せな生活を送ることができる社会を目指して計画を作り、みんなで取り組んでいきます。

## この計画で大事にする思い（基本理念）

家庭や地域の中で自分が大切な存在であることを  
実感することができる環境づくり  
～子どもがまんなか～

この計画は、子どもや若者が家庭や地域の中でかけがえのない存在として大事にされ、自分たちも子どもの権利を知ることによって自分が大切な存在であると認識し、自信を持って成長できるまちを目指します。

真庭市は、地域の「人と人のつながり」や「自然と共に生きる環境」が自慢できる点です。地域全体で子どもや若者の健やかな成長を後押しします。

# 子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）

子どもの権利条約は、1989年に国連総会において採択され、日本は1994年に批准しました。

子どもの権利条約は子どもが守られる対象であるだけでなく、権利をもつ主体と位置づけ、おとなと同じく、ひとりの人間として持っている権利を認めています。さらに、おとなへと成長する途中にあり、弱い立場にある子どもたちには保護や配慮が必要な面もあるため、子どもならではの権利も定めています。

## 1. 差別の禁止（差別がないこと）

すべての子どもは、子ども自身や親の人種や国籍、性、意見、障がい、貧困、経済状況などどんな理由でも差別されず、条約の定めるすべての権利が保障されます。

## 2. 子どもの最善の利益（子どもにとってもっともよいこと）

子どもに関することが決められ、行われる時は、「その子どもにとって最もよいことは何か」を第一に考えます。

## 3. 生命、生存、発達に対する権利（命を守られ成長できること）

すべての子どもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるよう、医療、教育、生活への支援などを受けられることが保障されます。

## 4. 子どもの意見の尊重（子どもが意味のある参加ができること）

子どもは自分に関係ある事柄について自由に意見を表すことができ、大人はその意見を子どもの発達に応じて十分に考慮します。

## これから取り組んでいくこと

### ●こどもたちの声<sup>こえ</sup>が大切<sup>たいせつ</sup>！

- こどもや若者<sup>わかもの</sup>がどんなことを考えている<sup>かんが</sup>のか、どんなことに困<sup>こま</sup>っているのかをみんなでよく聞き<sup>き</sup>、その意見<sup>いけん</sup>を大切<sup>たいせつ</sup>にします。
- こどもや若者<sup>わかもの</sup>が自分の意見<sup>じぶん</sup>を言<sup>い</sup>える場所<sup>いけん</sup>や、地域<sup>ちいき</sup>で活動<sup>かつどう</sup>できる機会<sup>きかい</sup>を増<sup>ふ</sup>やしていきます。

### ●赤<sup>あか</sup>ちゃんからおとなになるまで、楽<sup>たの</sup>しく学<sup>まな</sup>べるように！

- こども園<sup>えん</sup>や学校<sup>がっこう</sup>などをもっと良<sup>よ</sup>い場所<sup>ばしょ</sup>にします。
- 放課後<sup>ほうかご</sup>も安心<sup>あんしん</sup>して楽<sup>たの</sup>しく過<sup>す</sup>ごせるように、学童保育<sup>がくどうほいく</sup>や地域<sup>ちいき</sup>の教<sup>きょう</sup>室<sup>しつ</sup>をもっと充<sup>じゅうじつ</sup>実<sup>じつ</sup>させます。

### ●地域<sup>ちいき</sup>みんなでこどもを育<sup>そだ</sup>てよう！

- 地域<sup>ちいき</sup>の人<sup>ひと</sup>たちがこどもたちとふれあ<sup>きかい</sup>う機会<sup>ふ</sup>を増<sup>ふ</sup>やします。
- 困<sup>こま</sup>ったことがあ<sup>あ</sup>ったら、いつでも相談<sup>そうだん</sup>できる場所<sup>ばしょ</sup>をつ<sup>つく</sup>ります。

### ●困<sup>こま</sup>っているこどもたちを助<sup>たす</sup>けよう！

- いじめや虐待<sup>ぎゃくたい</sup>をなくすように、みんなで力<sup>ちから</sup>を合<sup>あ</sup>わせます。
- 障がい<sup>しょうがい</sup>のあるこどもたちや、ひとり親<sup>おやかてい</sup>家庭<sup>あんしん</sup>のこどもも安心<sup>あんしん</sup>して暮<sup>く</sup>らせるように、色々<sup>いろいろ</sup>なサポ<sup>さぽ</sup>ートをし<sup>し</sup>ます。

### ●お父<sup>とう</sup>さん、お母<sup>かあ</sup>さんが働<sup>はたら</sup>きやすいように！

- お父<sup>とう</sup>さん、お母<sup>かあ</sup>さんが仕事<sup>しごと</sup>と子育て<sup>こそだ</sup>を両<sup>りょうりつ</sup>立<sup>りつ</sup>できるように、働<sup>はたら</sup>きやすい環<sup>かんきょう</sup>境<sup>じょう</sup>をつ<sup>つく</sup>ります。

○こどもを<sup>あず</sup>預けやすい<sup>かんきょう</sup>環境<sup>つく</sup>を作ります。

## この計画をみんなに知ってもらうために

---

<sup>けいかく</sup>計画は<sup>まにわし</sup>真庭市のホームページや<sup>こうほうし</sup>広報紙などでお知らせ<sup>し</sup>していきます。  
みなさんも<sup>ともだち</sup>友達やまわりのおとなたちに、こどもや<sup>わかもの</sup>若者<sup>たいせつ</sup>を大切にす  
るための「<sup>まにわし</sup>真庭市<sup>けいかく</sup>こども計画」について<sup>はなし</sup>話をしてみてください。